

町田こぼと幼稚園自己評価表

園の基本精神 生まれてきたことを喜び、感謝し、誇りをもって生きる
園の教育理念 個性を伸ばし、自立心・自律心をもって互いに思いやりのある行動がとれる人間を育てる

- ・ より平和な世界の構成に貢献するために、広い知識とコミュニケーション力を獲得します。
- ・ 子どもの遊びや好奇心から始まる探究を通じ、考える力を養います。
- ・ 他者の正義をも尊重できる人格の形成に努めます。
- ・ さまざまな実体験を通じ、共に生きるための問題解決力と行動力を育みます。
- ・ 自己を肯定し表現します。

1-(1). 2022年度園目標設定 (年間保育案等)

参加: 神蔵聖子・神蔵かおる・神蔵宗・池上・丹野・田中み・岩間・田中さ・大川・堀口・松井・長谷川・林・山下・高橋・市丸・外間・中嶋・村上・宮平・渡邊・三原

a	環境整備に努め、園児の安全面に配慮して基礎体力を育むよう指導する。 (特にコロナの状況で、体力が落ちている子どもが大勢いると思われるので)
b	基本的な生活習慣を自主的に行えるよう指導する。 基本的な生活習慣”に沿った行動を”自主的に行えるよう指導する。
c	子ども達が国際バカロレア (IB) 教育の定める学習者像を理解し、積極的に行動するよう促す。

1-(2). 1-(1)に対する具体的な方策

対象目標番号	方策	総合判定
ア	基本案 戸外での活動を増やし、特にコロナ禍なので基礎体力の向上を目指す	A
	修正案 ※コロナの状況を考えると、夏場の暑い時期よりも冬場の方がマスクをしていても動きやすいので、より戸外での活動を増やし基礎体力の向上を目指す 3学期開始時追記	
	修正案	
イ	基本案 各教室のコーナーづくり ※言語 (聞き方、*話し方、書き方、読み方)、数と量のフェーズに応じて担任は設定変更をする	B
	修正案 *相手の気持ち・立場を考え、思いやる姿勢での言葉遣いを伝えながら (2学期開始前8月打合せ時追記)	
	修正案	
ウ	基本案 子ども達が安心して過ごせるように環境整備に努めると共に、職員は広い視野を持ち、報告・連絡・相談を密に行う。怪我などの場合はすぐに保護者に連絡をとる。連絡が遅れた事があり、それを踏まえ再発を防止する。園内での連絡だけでなく、*保護者との連絡も密にする。	A
	修正案 *コロナ禍ではオンラインも活用する	
エ	基本案 手洗いうがい及びハンカチで手の拭き方、鼻のかみ方を徹底する	B
	修正案 *清潔なマスクのつけ方も加える	
	修正案	
オ	基本案 図書の活用を通じ、学習者像の理解を深める ※クラスの図書の把握	B
	修正案 日々の活動や姿勢、図書の活用などを通じ、学習者像の体現を目指す ※2学期開始時追記	
	修正案 図書室に移転する絵本のなかの様々な学習者像をさぐる活動を増やす。 ※3学期開始打合せ時に追記	

●基本案は年度初めに設定し、それに対する修正がある場合は学期末毎に修正案を作成する。

●判定は年度末に行う。

判定 : A=成果が得られた B=どちらとも言えない C=成果が得られなかった

2-(1). 1 学期末途中判定 2022年7月15日

参加: 神蔵聖子・神蔵かおる・神蔵宗・池上・丹野・田中み・岩間・田中さ・大川・堀口・松井・長谷川・林・山下・高橋・市丸・外間・中嶋・村上・宮平・渡邊・三原

	具体的な方策への実施の判定	出来なかった場合その理由及び来学期の試案
1-(2)-ア	(A) ・ B ・ C	運動会を6月に開催し、それ以降も活動をしっかりと行うことができた。戸外に出かける機会も多く動ける機会をふんだんに作ることができた。
1-(2)-イ	A ・ (B) ・ C	コロナの状況で、なかなかコーナーの設置が難しい状況であった。2学期以降は感染の状況も考えコーナーも設置して行きたい。
1-(2)-ウ	(A) ・ B ・ C	オンラインなども利用し、保護者との連絡もできたが、実際に対面の機会がなかなか作れない。今後検討しなければならない。
1-(2)-エ	A ・ (B) ・ C	マスクの適切な使い方扱い方の指導を行わなければいけない。
1-(2)-オ	A ・ (B) ・ C	コロナの状況で、図書コーナーも縮小したが、今後は少しずつ増やさなければならない。コーナーなどの分類をもう少し明確にしなければならない。

2-(2). 2 学期末途中判定 2022年12月23日

参加: 神蔵聖子・神蔵かおる・神蔵宗・池上・丹野・田中み・岩間・田中さ・大川・堀口・松井・長谷川・林・山下・高橋・市丸・外間・中嶋・村上・宮平・渡邊・三原

	具体的な方策の実施の有無	出来なかった場合その理由及び来学期の試案
1-(2)-ア	(A) ・ B ・ C	年中が2学期に屋外で行う体操の、内容を改善し、達成感を味わえるよう「体操カード」にする
1-(2)-イ	A ・ (B) ・ C	言語と数と量のフェーズの理解を深め、必要な活動を援助できるようにする。
1-(2)-ウ	(A) ・ B ・ C	
1-(2)-エ	A ・ (B) ・ C	モンテッソーリの鼻のかみ方について教員全員でおさらいし、子ども達に共通の方法を伝える
1-(2)-オ	A ・ (B) ・ C	12月の発表会演目の登場人物の学習者像をより深く考える

2-(3). 年度末最終判定 2023年3月24日

参加: 神蔵聖子・神蔵かおる・神蔵宗・池上・丹野・田中み・岩間・田中さ・大川・堀口・松井・長谷川・林・山下・高橋・市丸・外間・中嶋・村上・宮平・渡邊

	具体的な方策の実施の有無	年間の振り返り
1-(2)-ア	(A) ・ B ・ C	
1-(2)-イ	A ・ (B) ・ C	ユニットに言語と数の活動をおこみ、部屋のコーナーと連動させることをめざす。
1-(2)-ウ	(A) ・ B ・ C	
1-(2)-エ	(A) ・ B ・ C	
1-(2)-オ	A ・ (B) ・ C	2023年度中に図書室を設置し、学習者像の具体的な姿を探究したり、知の宝庫として活用していく

今後の課題(年度末自己評価)

生活面の援助は概ねできているが、今後は国際バカロレア(IB)教育の要件について、内容を精査し教職員統一の認識を持つ必要がある。国際的視野をもつことを具体化した10の学習者像が、より身近に、日常で意識でき、目指す姿となるように環境を設定していくことが課題である。

学校評議員評価委員会の評価(第三者評価委員会)【2023年3月18日開催】

子ども達の健やかな成長を援助し、日々の安全面については概ね担保されているように見受けられる。不適切な保育、教職員の言動などが無い園であり続けてほしい。
 施設面では、2023年度の図書室設置について報告を待つ(2022年度予算に数字があったため)。国際バカロレア教育認定校として、子ども達の主体的な学びの姿勢と、国際的な視野を持つわかもの姿を期待する。
 参加委員: 大沼久子・服部つね子・市川正人・増田順子・福田操子・助川倍美・斉藤貴子・森脇玲子・鈴木宏典

2022年度教職員研修参加状況

	研修名(テーマ)	開催者	参加者
1	IB カテゴリー1 研修	国際バカロレア機構(IBO)	新人教職員
2	AED講習	ライフネット岡部氏	全教職員
3	サイバードリーム研修	幼年教育出版	教員
4	幼稚園協会研修	町田市私立幼稚園協会	全教員
5	IB カテゴリー2 研修	サニーサイドINS校長 泉先生	教員

(その他の研修も参加あり)